

熊本地方の地震により、被害を受けられました皆様に、心よりお見舞い申し上げますと共に、被災された皆様の、一刻も早い復旧・復興を祈念いたします。



皆様こんにちは。

前回のメルマガで Private Show 2016 in 大阪の開催が決まった事をお伝えしました。会場の機材設置に気になることができたので、確認のためにまたまた行ってきました。そこでちょっとした出来事が。この内容は、編集者便りにてお伝えします。

さて今回は、Private Show 2016 in 大阪で展示する製品を一部ですが、製品フラッシュにてご紹介します。ぜひ最後までご覧ください。



目次



【製品フラッシュ】

- 55 インチ 8K 液晶モニター (DM-3815)
- 単板式スーパーハイビジョンカメラ (AH-4801-B)
- MMT アナライザー (SP-5800)
- 放送バックアップ伝送システム (CB-5542)
- 4K-HD 低遅延切り出し回転装置 (GP-4020-A)

【最新ファームウェア情報】

- VG-876
- VA-1842

【イベント情報】

- 来場御礼：九州放送機器展 2016
(福岡国際センター 2016/7/21～22)
- 来場御礼：ケーブル技術ショー2016
(東京国際フォーラム 2016/7/28～29)
- Private Show 2016 in 大阪
(AP 大阪駅前梅田 1 丁目 2016/9/29～30)



【製品フラッシュ】

機器の開発やストリームの検証など、MMTに関わる幅広い場面でお使い頂ける製品です。

- ・解析結果をアプリケーションの GUI に表示
- ・エラートリガー条件に従い、ログ出力・SNMP-TRAP 発報・収録を実行(対応予定)
- ・入力 IP パケットの収録が可能 (Pcap ファイル)
- ・収録パケットの解析が可能
- ・NIC、宛先 IP アドレス、宛先ポート番号で解析対象を指定
- ・アプリケーションの多重起動により、複数系統の入力を同時に解析可能

展示内容：SP-5800、SP-5017、SP-5018 による実演デモを実施。

<http://www.astrodesign.co.jp/japanese/product/sp-5800>



●放送バックアップ伝送システム (CB-5542)

地上デジタル放送で用いられる 204byte の MPEG-2TS(放送 TS) の帯域を圧縮し、IP 伝送する装置です。

放送局から送信所までの伝送路 (STL)を、IP 回線でバックアップすることが可能です。

帯域を圧縮することで、回線のコストを削減できます。

また双方向の伝送が可能のため、平常時は素材の伝送などにお使いいただけます。

・放送 TS の帯域を圧縮した上で、TS over IP 伝送し、バックアップ系を構築します。

・約 32.5Mbps の放送 TS を、20Mbps 程度まで圧縮可能です。

・帯域圧縮による画質・音質の劣化はありません。

・クロック情報を伝送することで、送受信の機器間で同期した動作が可能になります。

・FSYNC の出力に対応します。

・送受信 1 台ずつで双方向の伝送ができるため、緊急時のバックアップ用途だけでなく、平常時には素材の伝送にもお使いいただけます。

・IP v 4/IP v 6 に対応します。

・同時に複数拠点へ素材を伝送できます

・電源の二重化に対応します。

・リモートでの操作/情報取得が可能です。

展示内容：放送バックアップ伝送の実演デモを実施。

<http://www.astrodesign.co.jp/japanese/product/cb-5542>



●4K-HD 低遅延切り出し回転装置 (GP-4020-A)

【ご来場ありがとうございました】

●九州放送機器展 2016

(福岡国際センター 2016/7/21～22)

<http://www.astrodesign.co.jp/japanese/event/event-20160428-2208.html>

【ご来場ありがとうございました】

●ケーブル技術ショー2016

(東京国際フォーラム 2016/7/28～29)

<http://www.astrodesign.co.jp/japanese/event/event-20160428-2212.html>

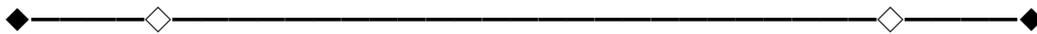
【ご来場をお待ちしております】

●Private Show 2016 in 大阪

(AP 大阪駅前梅田 1 丁目 2016/9/29～30)

招待状配布、ホームページへの掲載は 8 月末を予定しております。

今しばらくお待ち下さい。



【編集者便り】



8 月に入り会場確認のために大阪へ行った時のことですが、お昼ごろに着き外に出た瞬間、暑い一言が出てしまいました。気温は 36 度と掲示板に表示されていたのですが、ビルとビルの間には立っていると体感温度はそれ以上です。汗も止まらず思わず建物内に入ってしばらく涼しんでから向かうことにしました。確認作業をなんなく終え帰ってきたのですが、どうにも東京と大阪の猛暑日（最高気温が 35 度以上）が気になり調べてみたところ、7 月に入ってから東京では 3 日のところ大阪では 21 日、真夏日（最高気温が 30 度以上）は東京では 38 日のところ大阪では 55 日と、断然大阪の方が暑いことがわかります。9 月末は気温は下がっているだろうと願いつつ準備を進めていきますので、Private Show 2016 in 大阪を楽しみにしててください。



最後までお読みいただきありがとうございました



本メールは、過去にアストロデザインが主催・出展するセミナーやイベントにご来場いただいた方、名刺交換させていただいた方および、本メールサービスに登録申込みをしていただいた方へ配信しております。

※配信解除や登録内容の変更をご希望のお客様は、本メールの下部をご覧ください。



Twitter : <https://twitter.com/AstrodesignInc>

facebook : <http://www.facebook.com/astrodesigninc>

*メルマガ、ホームページにはない情報も配信しています。



◆新規登録・登録内容の変更や配信停止はこちらからお願いします。

<http://www.astrodesign.co.jp/japanese/astro/mailmag/index.html>

※新規登録をご希望の方がいらっしゃいましたら是非ご紹介下さい。

◆その他ご意見・ご感想、ご興味のあるテーマ、取り上げて欲しいテーマ等
ございましたら下記編集部までお気軽にご連絡下さい。

<https://www.astrodesign.co.jp/japanese/form/mailform.cgi?type=default>

※このメールは送信専用のメールアドレスから配信しています。

このメールアドレスに返信いただいても、お答えできませんのでご了承ください。



本メールの内容の無断複製、転載は禁じます。

本メールマガジンの著作権はアストロデザイン株式会社に帰属します。

Copyright 2015 ASTRODESIGN, Inc. All rights reserved.

